

農林水産大臣賞（団体の部）

青年農業者を主体とした実施隊活動によりイノシシ被害を大幅に軽減

雲仙市鳥獣被害対策実施隊

（代表者：隊長 松尾 十七治）

長崎県雲仙市

主な取組

20～30代の青年農業者が核となって、イノシシ被害対策の知識と技術を備えた市職員とともに、鳥獣被害対策実施隊として主体的に活動。

地域住民らと共に、被害の現状把握や対策の計画立案を行い、農家の視点で、柵の設置・緩衝帯整備・捕獲等を軸として総合的な対策を積極的に実践かつ指導。また、その成果を点検することにより、対策の強化に活かす継続的な取組を実施。

これらの取組により、イノシシによる農作物の被害金額はピーク時より8割以上減少。農業者自らも狩猟免許を取得し、行政や地域住民と連携した被害対策は、先進事例として他地域への波及も図られている。

農家自らが主体的に活動し、被害対策を効果的に推進する実施隊の全国モデルとして大いに期待される。